

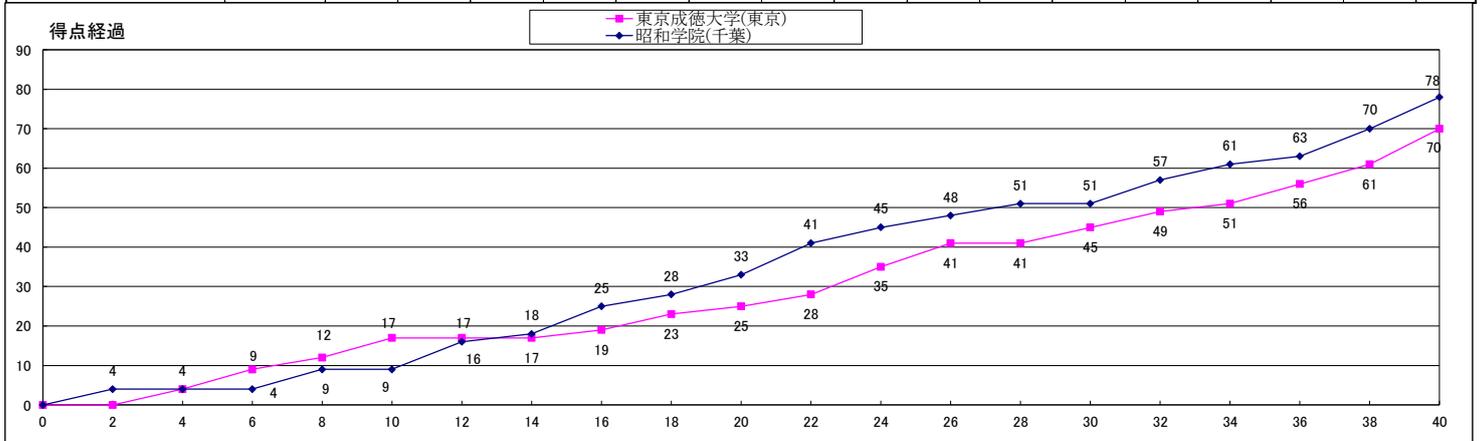
試合No.	A1	大会名	平成27年度 第26回 関東高等学校バスケットボール新人大会											
		期 日	平成28年 2月 7日(日)					会 場	小田原アリーナ					
女子準決勝戦	R	星野 由貴(群)			U1	渡部 伸一(神)			U2	廣瀬 俊昭(神)				
	チーム名					1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計		
	東京成徳大学(東京)					17	8	20	25			70		
	昭和学院(千葉)					9	24	18	27			78		

東京成徳大学(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
小沼 康乃	* 4	7	2	7	29%	0	3	0%	1	2	50%	1	0	4	1	1	1	3	
坂牧 祐里	5																		
神崎 璃生	* 6	2	0	1	0%	1	7	14%	0	0		0	2	1	0	0	1	2	
大原 咲織	* 7	9	0	0		3	10	30%	3	4	75%	2	5	0	1	0	2	2	
濱西 七海	8	6	0	1	0%	3	6	50%	0	0		1	3	0	2	0	2	4	
植松 莉佳	* 9	18	0	0		8	12	67%	2	2	100%	2	2	2	1	0	2	1	
菅野 恵	10																		
清水 智央	11	17	3	4	75%	4	9	44%	0	0		3	6	1	1	2	2	4	
木村 亜美	* 12	11	0	5	0%	4	9	44%	3	4	75%	2	4	4	2	0	2	3	
川角 春華	13																		
五老 アミナ	14																		
佐藤 理映	15																		
奥野 楓	16																		
佐藤 希	17																		
小笠原 彩香	18																		
コーチ	速香 周平																		
合計		70	5	18	28%	23	56	41%	9	12	75%	11	22	12	8	3	12	19	

昭和学院(千葉)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
片野 星	4																		
大塩菜々子	5																		
佐古 愛	6	13	2	2	100%	2	6	33%	3	5	60%	0	2	3	0	0	0	1	
笠置 晴菜	* 7	13	1	1	100%	3	13	23%	4	4	100%	2	1	3	2	2	1	2	
赤穂 ひまわり	* 8	18	0	0		8	14	57%	2	2	100%	5	10	0	1	1	4	0	
城内 はるか	* 9	15	2	4	50%	3	11	27%	3	4	75%	0	3	4	2	1	3	2	
宗形 真李	* 10	7	1	3	33%	2	8	25%	0	0		1	3	0	1	1	3	3	
齋藤 絢	11	7	0	0		3	6	50%	1	2	50%	1	1	0	1	3	1	4	
山下 詩織	* 12	5	0	0		2	4	50%	1	2	50%	0	1	0	1	1	2	2	
波多野 有沙	13																		
玉木 テレサ	14																		
関 千尋	15																		
平野 尚	16																		
寺内 はる菜	17																		
石川 菊理	18																		
コーチ	鈴木 親光																		
合計		78	6	10	60%	23	62	37%	14	19	74%	9	21	10	8	9	14	14	



戦評

1P  
両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、お互いに固さがみられシュートの確率がなかなか上がらない。東京成徳⑩が連続で3ptsを決め試合が動き出す。対する昭和学院もドライブを中心に反撃を試みるも、得点に結びつかない。東京成徳が17-9とリードし1P終了。

2P  
出だし昭和学院は⑨のアウトサイドシュート、⑫のゴール下シュートなどで一気に逆転に成功。東京成徳も果敢にリングにアタックをするが、昭和学院のディフェンスの前に阻止される。その後も⑥のバスケットカウントプレー、⑧のリバウンドシュートなどで得点を重ねた昭和学院がさらにリードを広げ、前半終了。

3P  
反撃に出たい東京成徳は④の3ptsや⑨のシュートで対抗するも、中・外とリズム良くオフェンスを展開する昭和学院に対して点差を縮めることができない。終盤、東京成徳は厳しいディフェンスから、早い展開を仕掛け⑫のシュートなどで盛り返す。51-45昭和学院リードで3P終了。

4P  
東京成徳は⑧⑨、昭和学院は⑩⑪などのシュートで両チームともにリズム良く得点を重ねていく。残り3分、東京成徳⑧のスティールからのシュートで5点差に詰め寄る。昭和学院はたまたずタイムアウトを請求。その後も東京成徳は必死の追い上げを図るが、昭和学院は落ち着いた試合運びで対応し、勝利をおさめた。